

病防第47号  
平成30年7月11日

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫（ウンカ類）の飛来状況（技術情報第3号）について（送付）

このことについて、梅雨入り（5月28日）からこれまでの水稻飛来性害虫の飛来状況をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

## 記

坪枯れの原因となるトビイロウンカの飛来が6月21、22日にみられましたが、7月上旬にも飛来したと考えられます。そのため、トビイロウンカの防除適期は6月21日、7月6日を起点として算出しました。飛来量は現在のところ平年より少ないですが、昨年同様セジロウンカの飛来量が少ないため、本種の増殖が高まる恐れがあるので注意してください。

### 【飛来および発生状況】

#### 1 トビイロウンカ

- (1) 合志市に設置した予察灯では、6月21～22日に5頭が誘殺された。6月第1半旬から7月第2半旬の累積誘殺数は5頭（平年8.3頭、前年5頭）で平年並であったが（表1）、梅雨期間中の飛来量は5頭（平年50.7頭、前年12頭）で平年より少なく前年並であった。
- (2) 合志市に設置した無防除水田（5月17日移植）では、まだ発生を確認していない。

#### 2 セジロウンカ

- (1) 予察灯における6月第1半旬から7月第2半旬までの累積誘殺数は、26頭（平年191.8頭、前年27頭）で、平年に比べ少なく（表1）、梅雨期間中の飛来量は26頭（平年791.9頭、前年29頭）で平年より少なく前年並であった。
- (2) 6月上～中旬の早期・早植え水稻の巡回調査では、寄生を認めず（平年0.14頭、前年0.01頭）、平年比やや少の発生であった。

### 【トビイロウンカ防除について】

①本年のトビイロウンカの梅雨期間中の飛来量は平年より少なかった。しかし、競合種であるセジロウンカの飛来が少なく、九州北部地方3か月予報（福岡管区气象台、6月25日発表）によると9月まで気温は高く推移する見込みで、トビイロウンカの増殖に好適な条件となっている。これらの条件は、9月以降に坪枯れが発生した昨年と類似しており、今後のトビイロウンカの発生には注意が必要である。

②防除適期はウンカ類の飛来状況から、6月21日及び7月6日を起点に算出した（表3、図1、図2）。6月中旬までに移植した水稻では6月21日、7月6日のいずれか、または両方を起点とした時期、6月下旬以降に移植した水稻では7月6日を起点とした時期が防除適期と予想される。

③トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。本情報及び今後発表される情報を参考に、ほ場を観察し、発生状況（要防除水準：表2）に応じて防除を行う。

※今後の発生状況、防除適期や対策については防除所のホームページ（<http://www.jpnp.ne.jp/kumamoto/>）に掲載します。

表1 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

が防除適期計算の飛来日

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ	
	合志市		合志市	
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ
6/1	0	0	0	0
6/2	0	0		
6/3	0	0	0	0
6/4	0	0		
6/5	0	0	0	0
6/6	0	0	0	0
6/7	0	0		
6/8	0	0		
6/9	1	0	0	0
6/10	0	0		
6/11	0	0		
6/12	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0
6/14	0	0	0	0
6/15	0	0	0	0
6/16	0	0		
6/17	0	0	0	0
6/18	0	0		
6/19	0	0	0	0
6/20	0	0	1	0
6/21	3	4	0	0
6/22	0	1	0	0
6/23	0	0		
6/24	0	0	0	0
6/25	0	0		
6/26	0	0	0	0
6/27	0	0		
6/28	0	0	0	0
6/29	2	0	0	0
6/30	1	0	0	0
7/1	0	0	0	0
7/2	0	0		
7/3	0	0	-	-
7/4	0	0	0	0
7/5	6	0		
7/6	4	0	0	0
7/7	5	0		
7/8	3	0	0	0
7/9	1	0		
7/10	0	0	0	0
計	26	5	1	0
平年	191.8	8.3	134.4	1.0

表2 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期<sup>注)</sup>  
(6月21日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第二世代幼虫)
熊本	8月7～13日
三角	8月8～14日
岱明	8月8～14日
鹿北	8月12～18日
菊池	8月10～16日
阿蘇乙姫	8月20～26日
甲佐	8月11～17日
八代	8月8～14日
水俣	8月10～16日
人吉	8月11～17日
本渡	8月11～17日

注)・6月21日、7月6日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月9日までは今年のデータ、7月10日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。  
・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

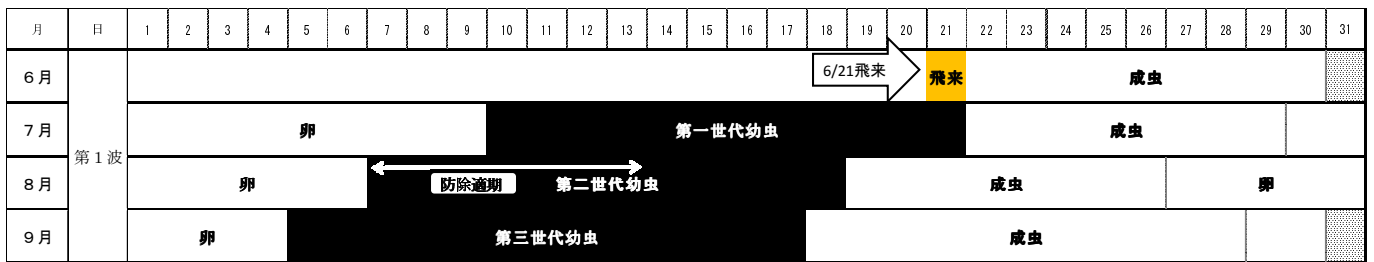


図1 6月21日に飛来したトビイロウンカの発生予想ステージ(熊本市のアメダスデータによる予想)

(7月6日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup>	
	(第一世代幼虫)	(第二世代幼虫)
熊本	7月24～30日	8月21～27日
三角	7月24～30日	8月21～27日
岱明	7月24～30日	8月21～27日
鹿北	7月25～31日	8月25～31日
菊池	7月24～30日	8月22～28日
阿蘇乙姫	7月28日～8月3日	9月1～7日
甲佐	7月24～30日	8月22～28日
八代	7月24～30日	8月21～27日
水俣	7月24～30日	8月22～28日
人吉	7月25～31日	8月24～30日
本渡	7月25～31日	8月23～29日

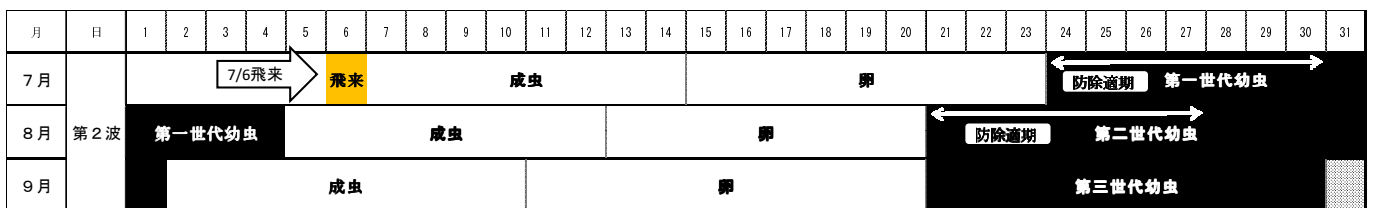


図2 7月6日に飛来したトビイロウンカの発生予想ステージ(熊本市のアメダスデータによる予想)

熊本県病害虫防除所  
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
病害虫研究室 予察指導係)  
担当: 坂本・清永 TEL 096-248-6490